

人工知能基本計画骨子（案）の概要：全体構成

第1章 基本構想 ～「世界で最もA Iを開発・活用しやすい国」を目指して～

今こそ「反転攻勢」の好機、A Iを軸とした経済社会を構築する国家戦略を策定

人とA Iが協働する「人間中心のA I社会原則」を堅持、イノベーション促進とリスク対応を両立

第2章 施策についての基本的な方針

3原則：イノベーション促進とリスク対応の両立、PDCAとアジャイル対応、内外一体の政策展開

4方針：A Iを使う、A Iを創る、A Iの信頼性を高める、A Iと協働する

第3章 政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策：4方針に基づく施策集

第1節：A I利活用の加速的推進：政府で、あるいは社会課題解決のため、まず「使ってみる」

第2節：A I開発力の戦略的強化：信頼できるA Iエコシステムを国内で構築、海外にも展開

第3節：A Iガバナンスの主導：PDCAサイクルを絶えず回し適正性を確保、国際協調も主導

第4節：A I社会に向けた継続的変革：産業、雇用、社会への影響を能動的に検証・対応

第4章 施策を政府が総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

推進体制の構築（例：規制改革推進室、デジタル庁などとの連携）、基本計画は当面毎年変更